



## 【コンサート出演者プロフィール】

### ■ 田中 貴倣美 (たなか きよみ) Piano

両親が音楽家の家庭で育ち、幼少よりエレクトーン・ピアノを始める。エレクトーンコンクール全日本大会出場後プロとしての活動を開始。第2回ヤマハ ライトミュージックコンテスト全国大会において最優秀賞 & ベストキーボーディスト賞を受賞。その後、海外4カ国でコンサートを行う。2009年、ピアノトリオでの初リーダーアルバム「Excellent Step」をリリースする。さらに、2012年、ジャズ界の大御所**ボブジェームス**氏と20曲以上に及ぶ名曲と共に夢の共演を果たす。その後もアルターナ、ケリーミドルマン等、海外のトップアーティストと共演する。エレクトーンにおいての活動と共に、ジャズピアニストとして人気アーティストと様々なユニットでのライブコンサートを展開している。ジャズ、フュージョン、ポピュラー、オリジナル等を中心に情熱的で愛のある美しい世界は多くのファンを魅了している。幅広い世界での経験を活かし、後進の育成にも力を注いでいる。

### ■ 高阪 照雄 (こうさか てるお) Drum

11歳からドラムを始める。1988年、ヤマハ音楽院大阪に入学。1990年、音楽院ポピュラー科を首席で卒業し、ヤマハ・ポピュラーミュージックスクールのドラム科認定講師となる。同時進行で京阪神のジャズクラブで演奏活動を開始。1922年、神戸mmジョインのピアニスト「小曾根 実」氏のトリオに入り、本格的なジャズを学び、ジャズ・ポートコンサート(サンTV)や小曾根氏のジャズラジオ番組などに出演。1988年、ジャズバンド「omori band」で韓国での演奏活動を開始。ボストンのパークリー音楽院が提供する「ソウル・ジャズ・フェスティバル」にも日本代表として参加し絶賛を浴びる。2001年から新たにジャズ・フュージョン系のバンド「BLACK CANDY」を結成、韓国テグ市主催「日韓親善コンサート」、プサン市主催「日韓友好コンサート」などに出演。音楽を通して日韓親善のために精力的に活動している。宝塚歌劇団のスタジオワークやCS放送タカラヅカ・スカイステージでタカラ・ジェンヌが歌う番組に出演。オープニング曲に自作作曲が起用される。現在、「BLACK CANDY」、「如月 怜生」のバンド「朧月」、クリエイションの竹田和夫氏のジャパニーズアのサポート、ボサノバ系バンド「sol.folha(ソル・フォーニャ)」など、さまざまなジャンルのバンドで演奏活動をしている。2008年からエリック・マリエンサル(チック・コリア・エレクトリック・バンド等)来日時、LIVE at [GREEN NOTE]でのサポートドラマーを務める。大阪芸術大学・演奏学科講師。

### ■ 山口 マリ Saxophone

幼少の頃よりピアノ、16歳からサクソフォーンを始め、音楽大学へ進学。サクソフォーンを赤松二郎氏に師事。在学中より演奏活動を始めると同時にサクソアンサンブルを中心としたグループを結成。クラシックからジャズ、ポピュラー、ファンク等、幅広いジャンルに取り組み関西を中心に全国各地でライブ活動を展開。2004年、ファンクロックバンド「ギタピス」1stアルバム「Gita Peace」をリリース。SANYO stereo digital voice recorderのデモソングとして採用される。2007年、ロサンゼルスにて世界のトップアーティストと共に初のソロアルバムのレコーディングを果たす。2008年、1stソロアルバム「Letters From Home」を全国リリース、好評を得る。2012年、2ndソロアルバム「Four Seasons」をリリース。ボブジェームス、アルターナー、ダンシーゲル、など素晴らしい海外アーティストとの共演、定期的に行っているライブハウスでのリーダーライブやイベントライブなどの出演、アーティストサポートやスタジオワーク等、演奏活動を繰り広げる。専門学校、サクソスクールの講師として後進の指導にも力を注いでいる。山口マリ with Friends, Ryo Okumoto TROP, 土岐 英史 session, FUNKS等で活動。

### ■ 荒玉 哲郎 Contrabass

1987年、竹下清志氏のグループに参加。ミッキー・ロウカーやオテロ・モリノウラと共演し、1994年、より単身渡米。帰国後はルイス・ナッシュやミゲル・アンヘル・バルコス等、国内外のミュージシャンと多数共演した。また、綾戸 智絵をはじめ様々なレコーディングに参加。2005年、アルゼンチンを訪問し、大統領官邸にて演奏会を行い好評を博す。2008年、ドイツ総領事の招待によりデュッセルドルフ等4ヶ所で演奏会を行う。2009年、全曲オリジナル・アルバム「ヘーザ」を発表。2010年、ウラジオストク・インターナショナル・ジャズ・フェスティバルに出演。2011年、なにわ芸術祭ジャズ大賞を受賞。現在はジャズのみならずブラジル、アルゼンチン音楽のグループで活動する傍ら大阪芸術大学にて後進の育成にも力を注いでいる。

〔演奏曲目〕

キャラバン・マンティカ・スペイン・ルバン3世のテーマ  
レット イット ゴー 他



### ■ 岩美高校 ジャズバンド Blue Martin Jazz Orchestra (ブルー マーティン ジャズ オーケストラ)

鳥取県内では唯一の高校生ビッグバンドで、「スウィングする街、岩美町♪」を掲げて活動しています。バンド名のBlue Martin(青いワツバメ)は岩美高校のマスコットキャラクター「イワツツ」をイメージしています。主な活動は、昨年と今年は「ジャパン・ステューデント・ジャズ・フェスティバル」に出演しました。今年は団体では入賞を逃しましたが、ドラムスの黒田奏真がナイスプレーヤー賞を受賞しました。地域イベントへの参加やコンサート活動としては、岩美町内のイベント(納涼祭・新年交歓会・浦富元気フェスティバル)・鳥取市内のイベント(川端ジャズアーケード・イオンモールコンサート・青い鳥コンサート・Piece of Cake・鳥取まちかどジャズ...)・定期演奏会・高等学校総合音楽会・サマープラスコンサートなど多数のイベントに参加しています。2008年秋、部員はたった2人。「入学式・卒業式で校歌がCDで流れる学校は嫌だ!!」と、必死に部員を集め、鳥取県内では前例がないビッグバンドに挑戦。そんな初代メンバー達のジャズへの情熱は後輩たちへ受け継がれ、今では年間30回近くの公演を行う力強いビッグバンドになりました。岩美高校「BMJO」、これからも応援 よろしくお願いします。

## 智頭街道商店街マップ

